



スポーツイベントで  
地域活性化を  
橋本 洋一（久岐野）



**Q** 令和7年に自転車イベントの「光ヶ原高原ヒルクライム」と「上越サイクルフェスタ」が開催され、多くの参加者で大変な賑わいを見た。市内ではこの他にも様々なスポーツイベントが開催されているが、市としてより積極的な支援を行い、更なる地域の活性化とにぎわいの創出につなげる考えはないか。

**A** スポーツイベントは、楽しさや喜び、感動、共感といった要素が、人と人、人と地域を結び付け、教育的な効果だけでなく、地域の活性化やにぎわいの創出にもつながるなど、市の発展にとって大変重要な取組だと認識している。これまで広報活動や運営スタッフなどの人的支援のほか、運営費を補助する財政的支援に取り組んできたところである。スポーツイベントがもたらす様々な恩恵については十分承知しており、引き続き、これまでの支援を継続しつつ、今後も主催者の主体性を尊重しながら、必要に応じて適切な支援策を検討していく。



上越サイクルフェスタの様子



特別豪雪地帯  
「上越市」の使命は  
櫻庭 節子（みらい）



**Q** 豪雪地帯に生きることが、それ自体が金銭的にも人材確保の面でも大変厳しい。新潟県、特に全国屈指の特別豪雪地帯である上越市は、より手厚い支援が見込める新たな制度の創設などを国に対して強く要望するべきではないか。

**A** 今冬は長期にわたる寒波の影響で市内全域が大雪に見舞われ、大島区で災害救助法が適用された。このような状況の中、市道除排雪に係る経費として総額56億円に及ぶ予算を確保するなど、市の財政負担の増大を踏まえ、国土交通省、総務省、財務省に赴き、除排雪費に対する特別交付税や、臨時特例措置などによる財政支援を要望してきた。今後も機会を捉えて先頭に立って要望活動を行い、雪国で暮らす人々により適切な支援をいただけるよう取り組む。

積極的な空き家の活用を

**Q** 「上越市空き家情報バンク」に登録されていない空き家が市内に多数あるが、他市の例にあるように外部人材を登用した制度で、より積極的な空き家の活用に取り組むべきではないか。

**A** 外部人材の活用は、民間ならではの柔軟な発想を取り入れることで空き家を地域資源として新たな価値につなげる可能性を有している。課題もあるが、他市の事例を参考にしながら、引き続き外部人材の活用について研究していく。



デジタルの力で  
地域の課題を解決！  
平原 留美（つなぐ）



**Q** 地域DXの推進体制について聞きたい。

**A** デジタル技術を地域の課題解決や活性化を図る有効な手段の一つとして捉えるとともに、デジタル化に伴う社会の変化を見据えながら、様々な分野において取組を進めている。3名の専門人材からは、大きな方向性や貴重なノウハウが示されており、今後の市政の各分野でのDX推進に、しっかりと活かしていく。

**Q** 上越妙高駅周辺に集積しているIT企業をどのように活用していくのか。

**A** 北陸新幹線開業以降に当市に進出したIT企業17社のうち、同地区には8社が立地している。IT人材の育成にも貢献いただくなど、地域DXをけん引していく貴重な担い手として期待している。

今こそ好機と捉え新たな観光施策の取組を！

**Q** 上越妙高駅を基点とした観光の取組は。

**A** 上越妙高駅は、当市の観光施策を進める上で重要な起点になると認識している。令和8年度は、データ分析や民間事業者との意見交換を踏まえ、観光施策の検討を進める。さらに、上越妙高駅が当市の玄関口にとどまらず、妙高エリアや佐渡への旅の起点としても選ばれるよう、県や他市等と連携して取組を進めていく。

